

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

児童デイサービス
ぱれっと

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など、課題
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		土日や長期休み等は室内の狭さを感じることがあります。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			今年度4月より職員が1名増えたことで、利用児の多い時にも十分な配置をとることがほぼできています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		室内に段差があったりし、トイレも男女で分かれていない状況。仕切りや手すりを設置しましたが、まだ不十分な箇所があります。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日の朝礼・終礼で職員間で話し合い、業務改善にあたっています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			昨年度のアンケートを確認し、改善の必要な項目には注意して取り組んできました。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公表予定です。保護者の方へ、文書での公開はしています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は受審していない。法人の評議員による評価は実施している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員会議の際に内部研修を行っています。学校関係での勉強会にも自由参加しています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			週に1回時間をとり、活動内容の検討や振り返りを行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		曜日や利用児童の特性によって固定されてしまいやすい日もあるので更に検討し合い改善にあたりたいです。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		設定は行いが、長期休みや土曜等の利用人数が多い際はその通りにいかないことも多い現状です。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			事業所のみで判断しにくい場合は保護者や学校に情報を頂きながら作成にあたっています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか				ケース記録に加え、必要な場合は個別記録をとりそれを共有しています。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		ケース会議には児発管が出席し、相談支援員との情報共有については日々意識しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		不明点や確認点が発生した際はすぐに連絡をとり合うようにしています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		医療機関との直接的連絡体制はとれていませんが、対象児童の保護者からは受診先を伺い保護者にはすぐに連絡をとれるようにしています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		在園していた際は園に伺い情報伝達をしましたが、卒園してからの情報共有はできておりません。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		法人内であれば密に情報伝達を行いますが、それ以外であるとなかなか細やかに提供をすることが出来ていない状況です。今後はこちらからの発信もしていけるよう改善したいです。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		連携はとれているが、センターから助言や研修を受ける機会があまり持てていません。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		定期的な機会には実施出来ていません。（近隣施設にあそびに出かけた先での交流のみ）
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		主催のガイダンスには出席しましたが、会自体には参加できていないことが多いです。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時の伝達や電話連絡、連絡ノートでのやりとり等、意識しています。計画作成の際は可能な限りお話を伺う場を設定しています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者からの相談に対しては、家族支援として個別に対応しているが、保護者への積極的なトレーニングの実施には至っていない。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時や、または質問があった際、なるべくわかりやすく説明できるよう意識しています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		専門性を問われる内容であったり、他機関からの情報も必要である場合は、少し時間を頂き返答をしたりしています。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会の設置には至っていません。今後要望が多くあがるようであれば検討していかなければならないと思います。行事等での交流は行っています。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			今年度に入り苦情はありませんでしたが、今後の対策として迅速に対応出来るよう心がけます。内部研修にてトレーニングも行いました。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月のぱれっと通信と月間活動予定を配布しています。時期が少し遅れてしまうこともあるので改善していきたいです。	
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○				
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			言葉で発することが難しい児童の場合は文字盤や絵カードを使用しています。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			年に1度ですが、夏に開催するぱれっと祭りで地域の方を招待します。	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員間での周知は出来ているが、マニュアル自体を保護者の方に周知することは出来ていないので、お知らせしていきます。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			地震、火災、津波、水害、不審者対応などの訓練を行っています。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束を行わなければならない対象児童がいませんが、今後そういった場合には記載します。粗暴行為が強い児童については、日々保護者と様子伝達を意識して行っています。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○		アレルギーが特に多い方については、保護者の方を通じて診断書を頂いていますが、全員分揃えられてはいない状況です。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

